

令和3年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：36003

学校名：定山溪中学校

改訂のポイント		○本校の学習環境や地域を生かしたカリキュラム・マネジメントのさらなる推進 ○昨年度ほとんど実践できなかった小中一貫教育を深め、「定山溪スタイル」を確立する（自ら進んで学習する能力及び自らの考えをまとめ発信する能力の育成）		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆「問題を知り、解決の方法を探し、試行錯誤して解決へ向かう」学習スタイルを確立し、自ら進んで学習する生徒～「学び方」 ☆自らの考えをまとめ、相手に伝わるような表現の仕方を工夫し、世界に向けて発信することができる生徒～「発信」		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ICTも積極的に利用する体験的、課題探求的活動の充実 自分の考えを他に伝える、発表する場面の多い授業 	【成果】 ⇒学習などについてのアンケートで学ぶ意欲の項目の肯定回答の平均が78.95%だった。さらに、「分からないことは自分で調べる」は83.3%、「勉強がおもしろい楽しい」が66.7%と、全市平均を大きく上回った。	【課題】 ◇タブレットなどICT機器の有効的利用の研修。 ◇学習体験を意欲につなげ、家庭学習を計画的にすすめ、習慣化させること。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> 課題探究的な学習サイクルの確立 自分の考えをまとめ、発表（表現）する活動 	【成果】 ⇒学習などについてのアンケートで思考力・判断力・表現力等の項目の肯定回答の平均が79.6%だった。特に「自分の意見を進んで発言」が66.7%と、全市の40%弱を大きく上回った。	【課題】 ◇教科横断的なカリキュラムマネジメントをさらに定着させる。 ◇意図が伝わる「発信」の工夫。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の定着のための朝の学習活動 	【成果】 ⇒学習などについてのアンケートで基礎的・基本的な知識及び技能の項目の肯定回答の平均が全市平均より5%以上上回った。	【課題】 ◇わかる・楽しい授業の一層の充実 ◇小学校と連携した学習習慣の確立の手立て
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 小規模校の学習環境や地域の特性を生かした課題探究学習と小中一貫教育による「定山溪スタイル」の確立		
	具体的な改善策（取組）	○昨年度ほとんど出来なかった小中一貫教育を踏まえた、小中の継続性や教科横断的なカリキュラム・マネジメントと指導体制を構築する。 ○地域の特性や少人数集団を生かし、体験的な学習や課題探究的な学習を積極的に取り入れることで学びの「定山溪スタイル」を確立し、主体的学習態度によって「発信力」をさらに高める。 ○保護者・地域との連携を深め、信頼関係の醸成に基づいて、「さっぽろっ子『学び』のススメ」「まほうのかいわ」を共有することで、家庭・保護者の意識や教育力を向上させる。		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科の評価規準に基づく学習状況評価の活用（自己評価シート、日常のテストやノート、観察等） ○全国学力・学習状況調査や本校独自の学校生活に関するアンケートの調査結果、育成プログラム中間・年度末反省シートの活用 ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用		

